

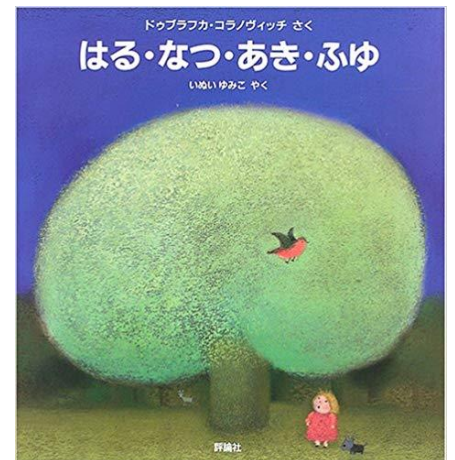
# おはなしだより 11月

<年長>

## どんなにきみがすきだかあててごらん

作 : サム マクブラットニイ  
絵 : アニタ ジェラーム  
翻訳 : 小川 仁央  
出版社 : 評論社

チビウサギとデカウサギは大の仲良し。「ぼくはきみのことこーんなに好きだよ」二匹は腕を広げたり、背伸びしたり、飛び上がったたり、どんなに相手を好きか言い合います。絵もお話の進行も終わり方もほのぼのした本。



## はる・なつ・あき・ふゆ

作・絵 : ドゥブラフカ・コラノヴィッチ  
訳 : いぬい ゆみこ  
出版社 : 評論社

アンナは、いなかのおじいちゃんとおばあちゃんのうちへいくのが、うれしくてたまりません。なかよしのこまどりもいっしょです。そこには、むしがたくさんいて、もりにはいると、どうぶつたちのすがたもみえます。きせつのうつりかわりが、いろのうつりかわりとなって、めをたのませてくれますよ。

<年中>

## ちょっとだけ

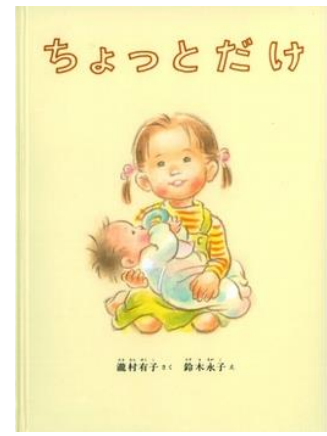
作 : 瀧村 有子  
絵 : 鈴木 永子  
出版社 : 福音館書店

なっちゃんの「ちょっとだけ」って、何だろう？

なっちゃんのおうちに、あかちゃんがやってきたのです。ママのスカートを「ちょっとだけ」つまんで、牛乳をコップにひとりで「ちょっとだけ」入れられて、ひとりで遊んだブランコだって「ちょっとだけ」ゆれて・・・。

なっちゃんは、ちよつとずつちよつとずつ頑張って「おねえちゃん」になっている様です。でも・・・ね。愛情たっぷりの最後のシーン。ママ達は、涙なしでは見られないんじゃないかしら。健

気ななっちゃん。大きな優しさで包み込むママ。そして可愛いあかちゃん。



## きんのおの

文 : 蜂飼 耳  
絵 : 宇野 亜喜良  
出版社 : 岩崎書店

正直に言えば、いいことがあるよ!

泉の近くで仕事をしていたきこりが、うっかり手をすべらせました。持っていた斧が泉のなかにどぼん! ため息をついていると、泉のなかから美しい女神があらわれました。

### <年少>

## はんぶんちょうだい

作 : 佐々木利明  
絵 : 古川 タク  
出版社 : 福音館書店

おせんべいを食べようとしたら、「はんぶんちょうだい!」だって。さあ、どうする? トムくんとヤムくんが、おやつをはんぶんこ。イチゴがひとつのったケーキ、ふたりはどんなふうにはんぶんこしたのかな? あなただったら、どんなはんぶんこがいいかな?



## きょう、おともだちができたの

作 : 得田 之久  
絵 : 種村 有希子  
出版社 : 童心社

はずかしがりやのゆうなちゃん。はじめておともだちができて、胸がふくらみます。「おかあさん! きょう、おともだちができたの。なまえはね、りなちゃんっていうの」。楽しい一日をすごしたその夜、ゆうなちゃんは、すこし不安になります。「りなちゃん、あしたもあそんでくれるかな……」。子どものまっすぐな気持ちを描いたおはなし。入園シーズンにぴったりの、はじめておともだちができた日の絵本です。